

新幹線に係る「移転補償のスケジュールと移転対象者向け宅地造成について」

町長 鉄道・運輸機構と連携を密にし、遅れのないよう努める



盛多 勝美 議員

盛多

北海道新幹線に係る行政報告において「平成30年度から、琴和地区の移転補償が見込まれる対象物件の調査・測量を行なう等の情報提供があったことから、行政として、移転補償対象者向け宅地造成事業を実施することいたしました。」とあるので伺う。

①補償対象者向け説明会をいつごろ実施、対象者はどんな範囲の方々に、どんな説明主旨か。用地買収を予測できるのか。
②移転補償の時期は何時

からか。いつまでに終える予定か。用地買収の時期と予定等は。

③宅地造成事業の概要と規模は。また、移転できる時期は何時ごろか。

④駅から北と南で用地補償の時期が違うが、今回は北側の補償を先にするというところで理解してよいか。

町長

①現在設計中であり、その詳細については情報提供が無いことから示すことは出来ないが、町道西4丁目通及び西10号琴平線に影響しない西側で計画しているとのこと。

②平成30年度に測量調査を行い、翌年度から本格的な交渉が始まり、2カ年を目標に交渉を進める意向と聞いている。

③移転補償対象者向け宅地造成事業は、俱知安高

校前の旧胆振線跡地を事業地として予定している。面積としては3万6000平方メートルで、豪雪地である本町の特性を考慮すると、一区画あたりの面積を100坪程度とした場合、およそ40区画前後の確保を想定している。

鉄道・運輸機構の説明会に合せ、町が行う予定の意向調査により、平成30年度から測量、調査、設計を行い、平成31年度

からの工事を計画している。④建物が密集する駅の北側の琴和地区を先行するため、平成30年から調査を開始し、移転補償に係る交渉については、平成31年度から本格的に始まる見込み。

対象地域の皆さんにとっては大きな問題であるので、今後のスケジュールについても、鉄道・運輸機構と連絡を密にとり、遅れのないよう努める。



町道西4丁目通線

一般質問 盛多勝美



高校前 旧胆振線跡地

盛多

移転対象地区の方の話では、

高齢のため、子どもとの同居などで俱知安を離れたいという方や、町営住宅に入りたいという方もいる。若い方は町が分譲するようなところを希望するのではないかと思うが、100坪40区画というところで足りるのか。豪雪の本町では100坪でも少ないぐらい。俱知安町に継続して住んでいたような対策・方策を是非考えてもらいたい。

町長

新幹線に伴って移転される

方の全部をカバーすることは出来ないが、何とか40区画くらいは確保して対処して行きたい。今後の意向調査による実態・要望を見た中で、集合住宅の希望が多い場合は、その区画に一部を変えるなどの対策を講ずる。

また、地域内の土地所有者の協力も要請して行くなど、スムーズに移転ができ、出来るだけ町内に住んでもらえる取り組みを進めて行きたい。